

令和元年度

事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

公益財団法人土門拳記念館

《 概要 》

公益財団法人土門拳記念館は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、酒田市写真展示館の管理及び運営を行い、それを通じて、写真芸術及び地域文化の向上に寄与する事を目的としている。この目的を達成するための事業は下記の通りである。

- (1) 酒田市から委託を受けた写真展示館の管理運営
- (2) 土門拳作品の保存と展示、及び調査研究と資料の収集
- (3) 土門拳賞受賞作品及び酒田市土門拳文化賞並びに奨励賞受賞作品の保存、
展示と写真芸術の普及
- (4) 所蔵作品の貸与及び写真芸術に関する刊行物並びに関連商品の販売
- (5) その他この法人の目的を達成するため必要な事業

幅広い年齢層や多様な興味を持つ方々にも、土門拳及び写真全体の魅力を伝えるため、令和元年度においても、特別展や展示関連のギャラリートークなど各事業を実施し、市はじめ他機関等とも積極的に連携に取り組んだ。クルーズ船入港によるインバウンドの影響、NHK日曜美術館「にほん 美の地図～山形～」や「暮らしの手帖」など全国的に周知度が高いメディアに大きく取り上げられたことや、積極的なSNS発信が功を奏し、入館者が前年度より大幅に増えた。(前年対比12.56%増)

社会全体の状況が日々大きく変化する中でも、《日本の美と心》を独特の視点で切り取った普遍的な土門拳作品の魅力、記録性・芸術性など写真が持つ多様な力、記念館という場の持つ空間の魅力を、再認識していただくこと、また新たに伝え続けることが必要である。他団体と協力し、細やかな取組と仕掛けづくりがより一層重要となっている。

令和元年度 展示内容及び各入館者数一覧

特別展期間入館料(一般800円)

他期間は通常料金(10月1日～料金改定)

月	主要展示室	企画展示室Ⅰ	企画展示室Ⅱ	その他イベント等
2019	～4/16(火) 室生寺 モノクロの光と影	～4/16(火) 古寺巡礼 伝統の装飾・文様	～4/16(火) 昭和の手仕事	
4	(期間中3,415人、4月1日からのカウント710人)			
4/17(水)～4/19(金)展示替休館				
5	4/20(土)～7/15(月祝)		4/20(土)～7/15(月祝)	・4/27(土) 拳ちゃんこどもまつり
6	特別展 昭和を見つめる目 田沼武能と土門拳		古寺巡礼 わが仏像10選	・5/25(土)特別展イベント 田沼武能「昭和と東京を語る」 聞き手 藤森武
(期間中10,197人)				
7	7/16(火)～7/18(木)展示替休館			・6/29(土)7/6(土) あじさい呈茶
7/19(金)～9/23(月祝)				
8	生誕110年			・7/6(土) 開館時間延長 ナイトミュージアムコンサート ヴァイオリンの調べ 出演:鈴木崇
9	土門拳 鬼が撮った日本			・7/28(日) 夏休み親子ワークショップ ピンホールカメラ体験教室
(期間中8,400人)				
9/24(火)～9/26(木)展示替休館				
10	9/27(金)～12/22(日) 生誕110年 土門拳 古寺巡礼 名作セレクション	9/27(金)～12/22(日) 第38回土門拳賞受賞作品展 高橋智史 『RESISTANCE カンボジア 屈せざる人びとの願い』	9/27(金)～11/10(日) 第25回酒田市土門拳文化賞 受賞作品展 (期間中5,223人)	・9/29(日) 第25回酒田市土門拳文化賞授賞式 ・10/1(火) 開館記念日無料開放 ・10/5(土)ミュージアムコンサート 會田瑞樹(ヴィブラフォン) ・10/12(土) 土門拳賞受賞作家ギャラリートーク
11			11/11(月)展示替休館	・10/26(土)ミュージアムコンサート yamagishi-kei(クラシックギター)
12	(期間中7,334人)		11/12(火)～12/22(日) 日本の古陶磁 (期間中2,111人)	・11/12～12/1 第14回「わたしのこの一枚」写真展
12/23(月)～1/3(金)展示替及び年末年始休館				
2020				
1				・2/22 よもやま話「土門拳その周囲の人びと」
2	1/4(土)～4/5(日)	1/4(土)～4/5(日)	1/4(土)～4/5(日)	
3	古寺巡礼 執念の第4集、5集	文楽	土門拳 その周囲の人びと	・3月コロナ感染拡大予防のため中止 『宝の目』土門拳さんの記念館で 吉野弘さんの詩をよむ
(期間中2,886人、3月31日までのカウント2,797人)				

公益事業 1

日本を代表する写真家である、酒田市出身の土門拳の全作品を収蔵・展示する酒田市写真展示館「土門拳記念館」において、酒田市民をはじめ広く写真愛好者及び美術愛好者に、土門拳の作品及び関連資料を鑑賞する機会を提供するとともに、土門拳に関する資料の収集、調査研究と教育普及活動を行う事業を行った。

1 土門拳作品展示事業

令和元年度は、主要展示室、企画展示室Ⅰ、企画展示室Ⅱの3つの展示室ごとに4回の展示替えを行った。

冬期間も含め企画ごとのポスター・チラシを配布するとともに、HP（SNS等含む）、酒田市広報、各種報道機関や地域情報誌を活用し、クルーズ船寄港や海外対応サイトなどインバウンドも意識したPRに努めた。

4月～11月は、展示替えによる臨時休館を除き無休とし、また、小中学生を年間通し無料とするなど、来館者の利便を図った。展示期間ごとの作品目録、小学生・中学生向けの資料、外国語（8カ国語対応）パンフレット、建物について詳しく記載した建築概要などを希望に応じ入館者へ配布した。

① 特別展の開催

「昭和を見つめる目 田沼武能と土門拳」

平成から令和へ変わった節目の年度に、昭和と東京の街をクローズアップする特別展を開催した。田沼武能作品と土門拳作品をあわせて展示することで、より深く昭和の魅力を際立たせ、時代の匂い、街の生きた記録、人間像を現代に強く伝える展覧会となった。

入館料 一般 800円（20名以上の団体650円）

学生 400円（20名以上の団体300円）

② その他の展示

- ・平凡社刊「別冊太陽 土門拳」をベースにした作品展「生誕110年 鬼が撮った日本」
- ・不朽の名作「古寺巡礼」名作セレクションなど王道を魅せる作品展
- ・生誕110年を意識して、土門拳の人物像を掘り下げた展示

同一作家土門拳でありながらも多様な作品、見せ方を工夫しつつ紹介した。

入館料 4月1日～9月30日 一般 430円（20名以上の団体370円）

学生 210円（20名以上の団体160円）

10月1日～料金改定 一般 440円（20名以上の団体380円）

学生 220円（20名以上の団体160円）

（年間展示内容及び各入館者数は一覧を参照）

2 普及事業等

(1) ギャラリートーク等

① 特別展関連企画「田沼武能 昭和と東京を語る」聞き手：藤森武

- ・日時：令和元年5月25日（土）午後2時～3時30分
- ・会場：土門拳記念館 主要展示室
- ・参加者：約90名

② 土門拳生誕110年企画トークイベント「弟子が語る土門拳」

- ・日時：令和元年8月31日（土）午後2時～4時
- ・会場：土門拳記念館 主要展示室
- ・講師：堤勝雄
- ・参加者：約40名

③ 「よもやま話 土門拳その周囲の人びと」

- ・日時：令和2年2月22日（土）午前午後、2回実施
- ・会場：土門拳記念館 企画展示室Ⅱ
- ・参加者：午前午後 計30名

(2) 「第36回拳ちゃんこどもまつり」

- ・開催日時：4月27日（土）
- ・会場：土門拳記念館・飯森山公園

- ・内容：・「こども写真教室」（参加者：17人）

講師：藤森武理事、堤勝雄理事（市内写真愛好家ボランティア協力）

- ・撮影コーナー「はい、チーズ」 ・スタンプラリー「ほしあつめ」
- ・フィリップさんとダンスパフォーマンスに挑戦
- ・昔あそびコーナー ・もっけさんの紙芝居 ・風船プレゼント
（雨天のため規模を縮小し、主にエントランス等館内で実施）
- ・当日館内入館者数204人

- ・キッズカメラマン写真コンテスト（対象・中学生以下）
- ・応募点数 88点 （20人）

- ・入賞（特選1名、入選5名、佳作14名）

- ・表彰式：7月20日（土）午前10時 土門拳記念館記念室
- ・入賞作品展示：7月19日（金）～8月15日（木） 記念室

(3) 親子ワークショップ「ピンホールカメラ体験教室」

(協力：公益社団法人日本写真協会)

・日時：令和元年7月28日(日)

1回目：午前9時30分～12時、2回目：午後1時～3時30分

・会場：酒田市総合文化センター310(明室)、工作室(暗室)

・内容：ピンホールカメラ(箱)組立、写真撮影、現像、プリントを体験

・参加者：午前・午後の回、あわせて親子41組

・完成プリントの展示：8月3日(土)～8月15日(木) 記念室

(4) 第14回写真展「私のこの一枚」展

・展示期間：令和元年11月12日(火)～12月1日(日)

・展示作品数：218点(内、小中高等学校参加6校)

・期間中入館者：1,396人

(5) ミュージアムコンサート等

① ナイトミュージアムコンサート 「ヴァイオリンの調べ」

・日時：令和元年7月6日(土)午後7時～7時40分

・会場：土門拳記念館 主要展示室

・出演者：鈴木崇

・参加者：約50名

② 土門拳生誕110年記念 秋のミュージアムコンサート

「ヴィブラフォンのあるところ～古寺巡礼によせて～」

・日時：令和元年10月5日(土)午後4時～4時40分

・会場：土門拳記念館 主要展示室

・出演者：曾田瑞樹(東京都在住)

・参加者：約50名

③ 土門拳生誕110年記念 ミュージアムコンサート

「秋に歌う Yamagishi-kei」(クラシックギターと歌)

・日時：令和元年10月26日(土)午後4時～4時40分

・会場：土門拳記念館 主要展示室

・出演者：yamagishi-kei(千葉県在住)

・参加者：約45名

④ 朗読会

『宝の日』土門拳さんの記念館で吉野弘さんの詩を読む 3月14日予定
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(6) 土門拳ミニギャラリー

館外無料施設で土門拳作品を展示し、一般市民へのPRを図った。

日時：令和元年12月10日（火）～12月20日（金）

会場：酒田市役所1階 フリースペース 「筑豊のこどもたち」

(7) 会員の募集について

前年度に続きポイントカードを配布し、新規会員及び継続会員の募集に努めた。

会員の加入状況

- ・普通会員券（2名まで） 425枚（前年度450枚）
- ・特別会員券（10名まで） 37枚（前年度33枚）

(8) 飯森山公園との連携

当館事業（こどもまつり）と公園事業を同日に開催するなどの連携を行った。また、飯森山公園のあじさいが6月下旬から7月上旬に見ごろでありライトアップされることに伴い、公園を訪れる方の館内入館を促すため、館内で下記を開催した。

楽之会による呈茶

- ・日時：令和元年6月29日（土）及び7月6日（土）
- ・会場：土門拳記念館企画展示室Ⅱ
- ・参加者数 6月29日 59人、 7月6日 51人

(9) 酒田市文化芸術推進プロジェクト会議主催事業への参加

① 「ときひろ先生とあそぼう！」

- ・日時：令和元年8月8日（木）午後8時まで開館延長
ワークショップ参加者が撮影した写真を夜、当館中庭壁を使って投影

② 「サカタアートマルシェ 2020」への参加

日時：令和2年2月2日（日）

会場：酒田市民会館「希望ホール」2階練習室 2.3

土門拳作品展示及びDVD「音楽で奏でる土門拳の世界」上映

※ショップ（当館グッズ販売） 1階ホワイエ

(10) その他

①全酒田写真連盟主催写真コンテストへの協力（記念室展示）

- ・第46回土門拳杯写真コンテスト入賞作品展（5月24日～30日）
- ・第52回酒田市長杯「土門拳杯」入賞作品展（8月28日～9月3日）

- ②土門拳生誕 110 年関連事業（1）祝花の展示
 - ・日時：令和元年10月24日～27日
 - ・会場：エントランス
 - ・協力：草月流酒田支部

- ③ 土門拳生誕 110 年関連事業（2）祝オリジナルせんべいの配布
 - ・日時：令和元年10月25日（土門拳誕生日）
 - ・対象：来館者全員 85名

- ④ 「東北文化の日」（毎年10月最終土日）への参加
 - 10月26日（土）ミュージアムコンサートの開催
 - 10月27日（日）来館者全員ポストカードプレゼント、179人

- ⑤ 新潟県・庄内エリアDC関連イベント
「写真家土門拳と記念館を深く知る バックヤードツアー」実施
 - ・日時：令和元年10月～11月の第二第四日曜日午後2時～（各回約40分）
 - 参加料（資料代他）500円、参加者31人

- ⑥ 外国人対象モニターツアー「座禅体験」への協力
（主催：Hidden Japan 協力：持地院）
 - ・日時：令和2年2月22日
 - ・会場：土門拳記念館 企画展示室II
 - ・参加者：14名（外国人10名、日本人4名）

- ⑦ 他組織との連携等
 - ・酒田市文化芸術推進プロジェクト会議への参加
 - ・酒田交流おもてなし市民会議への参加
 - ・酒田市国際交流協会への参加

3 施設管理運営事業

酒田市教育委員会より指定管理者に指定されていることを受け、「条例」、「包括協定」並びに「管理運営に関する仕様書」に基づき、酒田市写真展示館の管理・運営及び展示作品制作について、適正な業務に努めた。

- ・指定管理者：公益財団法人土門拳記念館 理事長 高橋修
- ・指定管理料：令和元年度 44,409,000円（税込）
- ・指定期間：平成28年4月1日～令和2年3月31日（5年間）

4 原板を含む土門拳作品の整理・保存事業

収蔵庫の湿湿度を管理しながら、引き続き作品の整理と適正な保存に努めた。

カラー作品については、プリント作品、原板及び原板から作成した約 2,000 点の代表作品データが収蔵されている。

モノクロ作品については、プリント作品のほか、ガラス乾板やモノクロフィルムなどの原板が収蔵されている。

* 写真原板（フィルム・ポジ）の劣化対策と保存について

令和元年度は、酒田市予算により 35 ミリカラーポジ原板及び 4×5 カラーデュープの包材交換とストレージボックスへの収納、及び平成 27 年度に設置されたクリーンブースで枯らし作業しながら 35 ミリフィルムを経過観察することが行われた。

全体的に数値も落ち着いた状況ではあるが、一部の劣化が進んでいるネガについては、引き続き、丁寧に観察を続ける必要がある。

また、展示用プリントを収蔵していないモノクロ作品について、保存用のプリントを制作することにも着手した。

サイズ：6 切り、制作点数：50 点

種類：モノクロバライタプリント（長期保存処理）

公益事業 2

日本を代表する写真家である土門拳を敬して 1981 年に毎日新聞社が創設した「土門拳賞」と、写真芸術の振興及び奨励に寄与する事を目的にアマチュア写真家を対象として 1994 年に酒田市が創設した「酒田市土門拳文化賞」、これら二つの受賞作品を展示、収蔵する事業を行った。

1 土門拳賞

(1) 第 38 回土門拳賞受賞作品展

毎日新聞社主催の土門拳賞（平成 31 年 3 月発表）受賞作品を展示・収蔵。

高橋 智史『RESISTANCE カンボジア屈せざる人びとの願い』

カラー 50 点収蔵

・展示期間：令和 2 年 9 月 27 日（金）～12 月 22 日（日）

・受賞者によるギャラリートーク

令和元年 10 月 12 日（土）午後 2 時～3 時 30 分（参加者：約 25 人）

2 酒田市土門拳文化賞（酒田市より受託事業）

(1) 第 25 回酒田市土門拳文化賞公募及び選考等

① 第 25 回（令和元年度）公募について

- ・応募者数 137名（35都道府県）
- ・応募点数 143テーマ（3,885枚）
- ・選考委員 江成常夫氏、大西みつぐ氏、藤森武氏
- ・選考会 令和元年6月28日（酒田市総合文化センター）
- ・授賞式（市主催）令和元年9月29日（日）午前10時 土門拳記念館

② 第25回受賞者

- ・酒田市土門拳文化賞 上瀧由布子（千葉県松戸市）
「糸遊～GOSSAMER」 モノクロ 30枚組
- ・奨励賞（3名）
管野千代子（栃木県那須塩原市）「二つの祖国」カラー30枚組
寺本雅彦（神奈川県横浜市）「墓場から揺り籠まで」モノクロ30枚組
新海裕幸（愛知県知多郡）「また一つ時を刻んで」カラー30枚組

③ 第25回受賞作品の展示、収蔵

文化賞受賞作品30点 額装展示
奨励賞3作品 一部額装及びアルバム展示

- ・展示期間：令和元年9月27日（金）～11月10日（日）土門拳記念館

巡回

- ・令和元年11月26日（火）～12月2日（月） ニコンプラザ新宿 1,334人
- ・令和元年12月12日（木）～12月18日（水） ニコンプラザ大阪 1,027人

(2) 第26回酒田市土門拳文化賞公募

令和2年度選考及び受賞作品展（予定）

(3) 酒田市土門拳文化賞友の会との連携・協力事業

① 第8回酒田市土門拳文化賞交流会

歴代受賞者である友の会会員と市内外の写真関係者等が交流を深め、更なる文化賞事業の発展及び写真文化向上を図ることを目的とし、実施。

*写真講評会

（主催 酒田市・公益財団法人土門拳記念館・酒田市土門拳文化賞友の会）

日時 令和元年9月28日 午後1時30分～3時30分

会場：酒田市総合文化センター

講師 江成常夫氏、藤森武氏 参加者 11名

*交流会

(主催 酒田市土門拳文化賞友の会、共催 酒田市・公益財団法人土門拳記念館)

日時：令和元年9月28日 午後6時～

会場：ホテルイン酒田駅前 参加者 60名

② 酒田市土門拳文化賞25周年記念写真展

(主催 酒田市・公益財団法人土門拳記念館・酒田市土門拳文化賞友の会)

歴代受賞者による写真展 参加者数39名、出品数78点(16×20 インチサイズ額装)

会期／会場／入場者数

【酒田展】令和元年9月24日～30日／酒田市美術館市民ギャラリー／711人

【東京展】令和元年11月14～20日／アイデムフォトギャラリー「シリウス」／1,380人

【大阪展】令和2年1月31日2月13日／オリンパスギャラリー大阪／1,360人

③ 酒田市土門拳文化賞友の会 会報発行及び情報発信等協力

収益事業1

土門拳の作品を、他美術館等の展覧会及びその他の使用へ貸し付ける事業を行った。
令和元年度の貸付件数は、48件。

*館外での土門拳展（個展以外も含む）

① 写真家が捉えた「昭和のこども」展

土門拳を含む19人の写真家による写真展（平成26年度から巡回）

・会期／会場

令和2年7月13日（土）～9月1日（日）／八戸市南郷歴史民俗資料館

・作品使用料 108,000円

・契約先 株式会社クレヴィス

*単行本の発刊

① 2019年7月 株式会社みすず書房刊 土門拳「死ぬことと生きること」新装版

700部発行、印税（6%）152,460円

② 2019年8月株式会社クレヴィス刊 「土門拳の室生寺」第一刷

4,000部発行、印税6% 622,080円

収益事業2

土門拳の写真集や関連書籍、クリアファイルなどのグッズ等を館内外（通信販売含む）で販売した。

- ・令和元年度制作販売オリジナルカレンダー
「2020 土門拳写真の旅 浄土の寺 平等院 浄瑠璃寺」
- ・令和元年度「酒田市ふるさと納税」5種類登録。28件の返礼品申し込みあり。

会議等に関する事項

1 評議員会及び理事会について

令和元年度の評議員会及び理事会を下記のとおり開催し、全て原案どおり同意・承認・可決された。

(1) 評議員会

① 令和元年度定時評議員会

- ・日 時：令和元年6月19日（水） 午後1時30分
- ・場 所：ホテルリッチ&ガーデン酒田 2階 ストロイエ
- ・案 件
 - 1 平成30年度事業報告について
 - 2 平成30年度収支決算について
 - 3 評議員の選任について
 - 4 理事の選任について
 - 4 監事の選任について
 - 5 その他

② 令和元年度臨時評議員会

- ・日 時：令和2年3月24日（火） 午後1時30分
- ・場 所：ホテルリッチ&ガーデン酒田 1階 スカンジナビア
- ・案 件
 - 1 報告（1）令和2年度事業計画について
 - 2 報告（2）令和2年度収支予算について
 - 3 その他 財団統合の検討状況について、他

(2) 理事会

①令和元年度第1回理事会

- ・日 時：令和元年5月24日（金）午後2時
- ・場 所：酒田市総合文化センター 4階 412 特別室
- ・案 件

- 1 平成30年度事業報告について
- 2 平成30年度収支決算について
- 3 定時評議員会の招集について
- 4 (報告) 理事長、館長及び学芸担当理事の職務執行状況について
- 5 その他 令和2年度入館料改定(案)について、他

②令和元年度みなし決議に関する理事会

- ・決議があったとみなされた日：令和元年6月27日
- ・案件 1 理事長の選任について
- 2 館長理事の選任について
- 3 学芸担当理事の選任について

③令和元年度みなし決議に関する理事会

- ・決議があったとみなされた日：令和元年12月20日
- ・案件 1 令和元年度収支予算の変更(第1回補正予算)について
- 2 令和2年度展示計画について
- 3 令和2年度入館料について

④令和元年度第2回理事会

- ・日時：令和2年3月7日(土) 午後3時
- ・場所：酒田市総合文化センター 4階 412特別室
- ・案件
 - 1 職員給与規程の一部改正について
 - 2 嘱託職員取扱規程の一部改正について
 - 3 日々雇用職員取扱規程の一部改正について
 - 4 令和2年度事業計画について
 - 3 令和2年度収支予算について
 - 4 臨時評議員会の招集について
 - 5 (報告) 理事長、館長及び学芸担当理事の職務執行状況について
 - 6 その他 財団統合の検討状況について、他

2 理事・評議員・監事合同勉強会の開催について

- ・日時：令和2年2月11日(火) 午後3時
- ・場所：酒田市総合文化センター4階 412特別室
- ・内容：財団組織体制の強化に向けた勉強会

3 財団定例監査について

- ・日時：令和元年5月17日(金) 午後2時
- ・場所：土門拳記念館 館長室

4 情報公開審査会について

- ・令和元年度中の情報公開請求 0件

登記、届出・報告に関する事項

- 1 令和元年6月26日 平成30年度事業報告書を県に電子提出
- 2 令和元年7月16日
山形地方法務局に、評議員、理事、代表理事及び監事変更に伴う変更登記申請完了
令和元年8月7日 評議員、及び監事変更を県に電子届出
- 3 令和2年3月28日 令和2年度事業計画書を県に電子提出

*所管 山形県教育庁文化財・生涯学習課